

# 日刊 動労千葉

79.5.1 No.106

国鉄動力車労働組合

千葉地方本部

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二二五八・九・(公衆電話)三二二七二〇七

# 葉千労働する前進に突いて勝利に向って

## 圧倒的成功がちとる！

### 4/28 津田沼支部襲撃事件糾弾・組織破壊暴力「オルグ」粉砕総決起集会

### 4/29 狭山再審闘争勝利・石川氏早期奪還千葉県民集会

動労千葉の4・28(5・1組織破壊攻撃粉砕の闘いは4・28津田沼支部における「4・17津田沼支部襲撃事件糾弾・組織破壊暴力「オルグ」粉砕総決起集会」をもって開始された。二〇〇名のオルグ団がおしかけるといふ当日であり、緊張したふん囲気の中で、片岡支部長を石でなぐり頭がい骨々折の重傷を負わすという「本部」暴力集団への怒りがあらためて燃え上り、全参加者は今後四日間わたる破壊「オルグ」をまず、津田沼の地において断固粉砕する決意を打ち固めていったのである。吉岡執行委員の司会のもと水野組織部長からの動労千葉闘争委員会の決意をこめた挨拶と「今日のわれわれの任務は集会の圧倒的成功と破壊「オルグ」の粉砕である」という行動提起、多忙な中をかけた反対同盟・北原事務局長の「反対同盟は動労千葉の防衛に全力をあげて闘う」という連帯の挨拶、更には4・17津田沼における革マル学生を先頭に立てた暴力襲撃によって、片岡支部長と共に闘い顔面に受けた傷あとも生々しい津田沼支部・山下副支部長を先頭に、D.L・D.C支部を代表して新小岩・松崎支部長、E.C職場を代表して千葉運転区・永田支部長がそれぞれ烈々たる決意表明を行い団結ガンパローを三唱して集会を終って行った。その後、「日刊動労千葉」前号で報告したように二五〇名の「オルグ団」を迎えうち、逆オルグをして消耗のうちに引きあげさせ、その直後について奇襲してきた暴力集団をも撃退していったのである。

## 消耗をくり返す「オルグ団」！

第二日目の二九日、前日のスピードカーによる逆オルグに逆上した「オルグ団」は津田沼支部へ「本部」の宣伝カーを持ち込んだが組合員が一人もいない構内で呆然とし、構内の芝生に座り込む者、新聞紙を敷いて寝コロボ者等、一日ブラブラし弁当を食うだけで消耗のうちに退散した。他の支部においても、ほぼ同じような状態が一日続き、千葉市・弁天地区に送り込まれた家庭「オルグ団」もキッパリと拒否され、ドアをたたくなどの嫌がらせをして帰っていったのである。

このような状況に焦る暴力集団は千葉駅に約三〇〇人でタムロシ、夕方引き上げ直前には「本部」青年部書記長・佐々木などの極悪分子どもが到着列車の乗務員に暴力をふるう事態となった。

動労千葉闘争委員会はこの事態を重視し、このような状況が明日も続けば列車の正常な運行は保障できないことを当局に通告した。

このような「本部」暴力集団の蛮行は職場でも家庭でも「オルグ」がさっぱりできなかったことを証明する以外の何ものでもない。われわれは、4・28(5・1組織破壊攻撃粉砕闘争勝利に向って着実に前進しつつあるのだ。

## 石川氏奪還をかかえて

### 千葉刑へ抗議のデモ貫徹！

四月二九日一三時、千葉市本町公園で開催され

た部落解放同盟千葉県連主催の「狭山再審闘争勝利・石川氏早期奪還千葉県民集会」に動労千葉は五〇名の結集をもって参加した。

統一地方選、七九春闘等労働組合として闘うべき課題を全て放棄した「本部」暴力集団の組織破壊攻撃と対峙しながらもわれわれは、労働者の解放を闘う労働者として「労農水連帯」の旗じるしのもと、断固として結集した。

集会は県連からの「この集会は今春再審却下策動阻止に向っての闘いである」という基調提起の後、連帯の挨拶が行なわれたがほとんど全ての発言者が「動労千葉の正義を守ろう」と発言し、動労千葉から布施執行委員から「三里塚と一線を画し、狭山闘争に「水本」を持ち込み狭山闘争を闘う者に対し冒瀆、敵対する動労中央の路線的誤りを正してゆくために闘う」という決意表明がなされる。と万雷の拍手をもって全参加者から確認されていた。

集会後部落差別をもって国家権力から殺人犯にデッチ上げられた石川一雄氏が幽閉されている千葉刑務所に対し、四〇〇名の隊列をもって千葉刑糾弾の刑務所を包囲するデモが貫徹された。

「石川さんガンバレ!」、石川さんの耳にとどけとばかりにシュプレヒコールは何度も何度も繰り返された。

デモ終了後、われわれは動力車会館にて総括集会を開催し、翌日からの組織破壊暴力「オルグ」粉砕闘争への意志統一を行ひ、一七時四〇分、全行動を終了した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！